



DATE: 令和8年 6月19日

いのちとくらしをまもる
防災減災



小学生と砂防体験！砂防現場見学会！ 【大鹿小学校】

開催概要

天竜川上流河川事務所では、「土砂災害防止月間」の取り組みとして、事業の周知と防災知識の普及を目的とした「砂防現場見学会」を開催します。

対象：大鹿小学校

日時：令和8年6月25日（木）08:50～11:15（予定）

（予備日：令和8年6月26日（金）08:50～11:15）

（予備日：令和8年7月2日（木）13:30～15:30）

場所：砂防出張所、近隣砂防工事現場等

* 小雨決行ですが、天候等により行程が急遽変更となる場合がございます。

添付資料

概要書（資料1）、見学会行程表（資料2）、行程図（資料3）

取材について

1. 配布先

駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、飯田市記者クラブ

2. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 砂防調査課

伊藤・青島 TEL:0265-81-6417

令和 8 年度 砂防現場見学会 概要書 (予定)
(大鹿小学校)

1. 概要

近年各地で大規模な土砂災害が発生し、人々の生活に大きな被害を与えています。

ここ伊那谷もまた、国内有数の急流河川が点在し、かつ、脆弱な地質構造を持つことから、「三六災害」をはじめとする多くの土砂災害に見舞われてきました。

天竜川上流河川事務所では、土砂災害による被害の防止のため、砂防設備の整備と同時に、地域防災力向上のための取組を行っています。

その一つとして、土砂災害の危険性や伊那谷の地形、過去の災害を知り、実際の砂防設備を見て学ぶ機会として、地域の小学生を対象とした現場見学会を開催します。

2. 実施内容

参加者 大鹿村立大鹿小学校 3年生

日時 令和8年 6月 25日(木) 8:50~11:15(予定)

予備日 令和8年 6月 26日(金) 8:50~11:15(予定)

令和8年 7月 2日(木) 13:30~15:30(予定)

行程 資料2「見学会行程表」をご参照ください。

場所 天竜川上流河川事務所 小渋川砂防出張所(下伊那郡大鹿村大河原892)
小学校近隣の工事現場及び砂防設備
(実施箇所については、資料3「行程図」をご参照ください。)

3. 留意事項

- ・現場見学会は大雨等により中止となる場合がございます。事前に取材のご連絡をいただいた場合には、当日7時30分までに電話またはFAXにて中止のご連絡をいたします。
- ・資料2の行程は目安です。当日の状況で時間が前後する可能性があります。

【問い合わせ先】





国土交通省 中部地方整備局
天竜川上流河川事務所 砂防調査課
伊藤・青島

TEL : 0265-81-6417

FAX : 0265-81-6421

R8 大鹿小学校 砂防現場見学会 行程表

資料2

着	発	場 所	行 動	目 的	備 考
—	8:50	大鹿小学校	・ 出 発		
9:00	9:30	小渋川砂防 ステーション 30分	・ 挨拶・事業説明 ・ ビデオ学習 ・ 模型を使った説明	【砂防についての学習】 ・ 「砂防ってなーに？」を使用し、砂防事業の概略を理解してもらう ・ 昭和36年の災害で大鹿村がどのような被害を受けたかを学ぶ	
—	—	移 動(20分)			
9:50	9:55	手開沢砂防堰堤 5分	・ 堰堤見学	【砂防堰堤見学】	
		移 動(5分)			
10:00	10:30	北川第2砂防堰堤 30分	・ 重機の乗車体験 ・ 測量体験 ・ 質疑応答	【重機に乗ってみよう】・大きな重機と小さな重機 【測量体験】・TSを覗いて宝探しをしてみよう。	
		移 動(20分)			
10:50	11:20	大河原床固工 (大鹿小学校裏) 30分	・ ドローンの飛行 ・ 映像確認 ・ 操作体験 ・ 魚放流 ・ 記念撮影	【ドローン进行操作してみよう】 ・ ドローンを使用し、上空から校舎の映像を見てもらう ・ 実際にドローン进行操作し動かしてみる。 【魚放流、記念撮影】 ・ 魚の放流を通じて自然の大切さを感じてもらう ・ 全員揃って記念写真(ドローンによる空撮、カメラ)	 
11:20	—	大鹿小学校	・ 解散		

現場体験について

【ドローン进行操作してみよう】

- ・ドローンを実際に操作して動かしてみます。(建設現場職員が補助します)
- ・普段では見ることのできないドローンから映す上空からの映像を見ていただきます。

【重機に乗ってみよう】

- ・土を掘る、均す、盛る、削るなど非常に多くの場面で活躍する建設機械「バックホウ」に搭乗してもらいます。
- ・見て、触れて、動かすことで建設機械のスケールを体感すると共に、用途に合わせて様々な機能を使い分けている事を知ることができます。

【測量体験】

- ・現場では物の長さや高さをどのように測っているのか理解してもらうために、実際に現場で使用している「光波測量器」という機械を使って計測します。

令和8年度 砂防・地すべり現場見学会行程図（予定）

資料3

